

インドネシアからの特定技能実習生のご紹介!

近年、医療・介護分野での介護職員の人材不足が社会問題となっています。当法人に於いても人材確保は課題となっており、介護職不足の解消のひとつとして、インドネシアから介護職員4名を（特定技能実習生）受け入れることになりました。初めての試みでしたが、事前に特定技能制度や、インドネシアについて研修しZOOMでの交流会も行ない、3月1日より、芳野病院に2名、老人保健施設 虹に2名が採用されました。ここでは虹に配属になったリアさんとインダさんをご紹介します。2人は仕事をしながら日本語・介護の勉強も頑張っています。



リア インダ ファニ ノル
虹 芳野病院

デイトニア・インダルティ



インダと呼んでください。虹の入所で働いています。一番好きな日本食はたいやきです。あんこ大好きです。最近、岡山城と倉敷美観地区に行きました。とてもきれいでした。他にももっときれいな所へ行きたいです。



インダ リア

フィンカ・マウリア



こんにちは。リアと申します。虹の入所で働いています。日本には四季があるのにおどろいて、初めて見る雪はきれいでしたが、とても寒かったです。日本のお祭りを見に行くのが楽しみです。

リアさんもインダさんもとても真面目で一生懸命業務にあたられています。いつも笑顔でご利用者と接することが出来ていて私も見習いたいと思うところがたくさんあります。これからも一緒に毎日楽しく頑張っていきたいと思います!(指導担当 入所介護 岡田 菜央)



介護福祉士取得のため入職から週/回/時間のペースと一緒に勉強しています。国家試験だけでなく日本語の勉強も難しいと思いますが2人ともとても努力しています。それを見習いわたしもインドネシア語を勉強しています。トゥリマ カシー「ありがとう」(統括課長 米井 浩太郎)

受入れにあたり慣れるまでの期間、指導担当者がサポートし、安心して環境や職務に馴染むよう努めています。慣れない土地でも明るく元気に一生懸命働く2人を温かく見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

(虹 事務長 植木 潤)



コラム

線香花火

夏の風物詩といえば花火です。線香花火は、火がついてから落ちるまでの間に火花の様子が4回変わることをご存知ですか。最初に、チロチロと膨らんで燃える様が「牡丹」です。次にパチパチと勢いよく音が鳴る「松葉」に変わります。だんだん火足が下がるのが「柳」。細い火花が1本また1本と消えていくのが「散り菊」。



これら4つの現象を経て、小さな玉になった火はポトンと落ちます。この燃え方は昔から人の一生に重ねられているそうです。この世に生を享け、すくすく育っていく様が「牡丹」で「松葉」は青春時代から働き盛りの時期。人間的にも円熟味を増して「柳」になり、最後は衰えて火が消えるというわけです。1本の線香花火に使われる火薬の量は、わずか0.07グラムほどだそうです。耳かき2杯程度の火薬を和紙でよって、線香花火は作られます。その精緻な技術もさることながら、そこに人生をなぞらえるあたりに日本的な感性があるのかもしれない。

(虹 リハビリ主任 松下 寛昭)

編集後記

今年も暑い季節が近づいてきましたね。6月の梅雨入り前に30℃を超える日も多く、夏本番になった時にどこまで暑くなるのか心配になりますね。なので外に出かける際は帽子やタオルの準備、水分補給を細めに行い、暑さ対策をしっかり行ってください。夏は花火や海、プールなど子どもたちにとっては楽しい事がいっぱいだと思います。体調管理に気を付け、暑い夏を乗り越えていきましょう。(虹 通所介護 松下 昌美)

プリズム

2024 夏号

発行：令和 6年 7月 1日
一般財団法人共愛会
老人保健施設 虹
岡山県苫田郡鏡野町古川1406
TEL 0868-54-3250
FAX 0868-54-4533

ご利用者に寄り添った認知症ケア

虹 入所
課長補佐 池田 光裕

今年で、老人保健施設 虹は開設 30 周年を迎えました。これもひとえにご利用者、ご家族、地域の皆さま、そして今まで働いてきた職員のおかげと感謝申し上げます。

30 年前といえば、まだ介護保険制度の開始（平成 12 年）以前になります。そこから、平成、令和へと元号が変わり、介護を取り巻く環境や制度は様々に変化するなか、そこに対応すべく職員一丸となり懸命に取り組んでまいりました。

現在、虹が特に力を入れていることは、認知症の方に対するケアです。最近ニュースでよく耳にする高齢者への虐待、これは社会問題にもなっておりこの介護業界で働く私たちにとっては、非常に悲しいことです。

とはいえ、私たちも人間ですから、こちらの思いが伝わらない時には、ついイライラしてしまうこともあります。しかし、専門職として認知症を正しく理解し、もし介護拒否があるとするならば、なぜその方が拒否するのかその理由を寄り



添って一緒に考えるよう努めています。その認知症の症状が出現する行動の理由を踏まえて、わたしたち介護者は感情的にならずそれをコントロールすることで症状を緩和するケアができると考えています。

虹では、ご利用者を一人の人として大切に關わることで、その積み重ねにより接遇の向上につながり、「やさしい施設」へ繋がると確信しています。

地域の皆さまにとって虹が今まで以上に頼りになる施設となるよう努力していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



老人保健施設 虹

行事のご紹介

虹では季節に応じた様々な行事が行われています。職員は趣向を凝らしご利用者に楽しんでいただけるよう努めています！

看護の日

5月13日



5月12日～18日は看護週間です。通所では13日のレクリエーションの時間に「看護の日」の由来等の話をしました・2024年度のテーマは“さあ、看護の未来を見つけにいこう”です。おやつに和菓子まんじゅうと、職員が抹茶をたてました。美味しいと喜ばれました。皆様の笑顔が増えますように、これからも思いやりを持って対応させていただきます。

(通所リハビリ 看護 宮本 光絵)



お花見

4月4日



4月4日、毎年恒例となったお花見散歩へ行って来ました。今年は例年よりも桜の開花が遅く満開に咲いた桜を見ることができました。春風が吹く中で花びらが散り、ご利用者様からは「散る桜もええなあ」と喜ばれていました。外出が難しいご利用者様もいらっしゃるため、食堂テーブルにお花を飾り、昼食には桜ちらしを食べて頂きました。「きれいじゃなあ、おいしいなあ」と笑顔が見られ、少しでも春を感じていただくことができました。

(入所 介護 岡部 紗弥香)

開設記念日

4月25日



春も盛りの日、入所者様、ご家族様のご理解・ご協力のもと、当施設も開設30年を迎えることができました。祝い膳のお弁当に「きれいじゃなあー、おいしそうじゃあー」と声をあげ、喜んでいただきました。虹の名物ともなりました「ちんどん屋」のメンバーも少しずつ変わりながら、皆様の笑顔の励みにこれからも楽しんでいただけるようバージョンアップをしていきます。

(入所 看護 主任 池口 久子)

カラオケ発表会

6月24・28日



コロナ禍後、4年ぶりにカラオケ発表会を行いました。2日に分けて、レクリエーションの延長といった形でしたが、4人のご利用者が事前にエントリーして得意の曲を披露していただきました。歌う方も聞いている方も久しぶりにカラオケの雰囲気を楽しんでいただきました。来年こそは従来の“カラオケ大会”が大々的に開催できるといいですね。

(通所リハビリ 課長補佐 工藤 哲士)

虹 事務室

お電話・ご来設の際には最初に対応させていただいたり、請求業務を行っています。

ご面会について

面会時間が1回15分に延びました。今までよりも長くお話していただけます。面会のご予約は事務室まで

虹 施設長室

虹の運営やトラブル対応、外部への発信等、施設長(法人理事長)からの指示はこちらで受けています。



各種申請書類作成やスタッフに関する手続き、施設設備管理、所属する職能団体の活動など、虹のほか共愛会介護事業所の事務長も兼ねています。(植木)

法人ホームページの管理やパンフレット・求人・広報誌の作成、理事長秘書業務を担当しています。今号のプリズムはいかがでしたか?皆さまに喜んでいただける紙面作りに努めています。(坂田)

グループホーム 作楽より

6月のイベントでおやつ作りをしました。紫陽花に見立てた赤と薄紫のゼリーを作り、砕いてヨーグルトの上に乗せました。入居者様個々に役割を持っていただき、順に作り上げ、最後の人が作楽の庭で採れたミントの葉をのせると「うわー、キレイ!」と歓声があがりました。見た目も涼しげで大変喜んでいただきました。(介護 石原 ちさと)



小規模多機能型居宅介護 気楽亭より

6月13日、風船バレーをしました。左右の2チームに分かれ手を高く上げてポンポンと相手の陣地に打ち返します。みなさん真剣になり大きな声が聞こえてきました。(介護 豊田 尚弥)



通所リハビリと訪問リハビリの請求を担当しています。笑顔で挨拶をして気持ちよくご利用していただけるよう心がけています。請求についてご不明なことがありましたらお気軽にお声かけください。(武中)

news 02

ご利用料金について

令和6年4月に入所・短期入所、6月に通所リハビリ・訪問リハビリでそれぞれ介護報酬改定があり、ご利用料金が変更になっています。加算項目も変わっているので、ご不明な点があればお問い合わせください。

虹 1階西側 窓口エリアのご紹介



1階西側には事務室・相談室・施設長室があります。こちらのエリアでは虹の運営業務などコアな部分を担っています。

虹 相談室

ご利用になりたい方の相談窓口として、お話をお伺いし、ご利用に繋げる仕事をしています。またご利用中の方もスムーズな在宅生活が送れるように、地域のケアマネジャーや関係機関とも連絡を取り合いながら、ご利用者の生活を支援しています。



入所と通所リハビリを担当しています。リハビリをご希望の方は、是非虹をご利用ください。ご相談お待ちしております。(小林)

入所とショートステイを担当しています。皆さま、ご不安なことがありましたらお気軽にご相談ください。(大盛)

主に入所を担当しています。ご利用者・ご家族に寄り添った支援を目指しています。ぜひご相談ください。(中塚)



<長期入所>

自宅での生活が困難なため、次の施設が空くまでの期間を入所。次の施設とは、特別養護老人ホーム、グループホーム、ケアハウス等。

<中期入所>

概ね1～3ヶ月入所し、自宅へ帰ることを目的とする入所。ご家族の行事や在宅復帰の準備等様々な理由でご利用できます。

<通所リハビリ>

日帰りでのリハビリテーション等がご利用できる通いのサービス。可能な限り自立した日常生活が送られるようサポートします。